

森林3D地図作成システム「Digital Forest®」



概要

- 日本の森林は森林資源の蓄積から、伐採による利用と成長をバランスさせた持続可能な利活用の時代に入。
- バランスさせるには、生育している土地等の情報の他、単木毎の位置や太さ、高さ、曲り、材積等の様々な情報を総合的に評価した、森林経営計画の立案のため、地上レーザにより森林をデジタル化。
- 森林の諸情報(地形、立木位置、幹直径、樹高、矢高等)を表現した、森林3D地図を自動作成するシステム”Digital Forest®”を開発。
- 使用する地上レーザ機器は、すべての三脚固定式および移動式レーザスキャナに対応。
- 最適丸太造材や、間伐木指定、指定間伐木の伐採・集材を考慮した路網設計プラグインによる施業計画の実現。

導入効果

- 林内計測は三脚固定式で1~2時間/ha、移動式レーザで30分~2時間(斜度および林分密度により変化)。
- 森林資源量のより正確な把握による、持続的森林経営の実現。
- バイオマス燃料やカーボンプレジットのモニタリングによる森林の付加価値と収益性の向上。

○ 対象品目

水稲	畑作	露地野菜	施設園芸	果樹	
茶	花き		林業		
酪農	肉用牛	養豚	養鶏	飼料作物	
沿岸漁業	養殖業	沖・遠洋漁業	その他水産業		その他

○ 開発等の段階

開発/実証中	
モニター販売中	
一般販売中	○
その他	

📞 連絡先

(株)woodinfo セールsteam
 TEL:070-4327-0284
<http://www.woodinfo.jp/>
info@woodinfo.jp

お問い合わせ
 フォーム



情報記載日：2020年10月30日

